

# 特集「写ルンです」と循環生産工場

「大量生産・大量消費・大量廃棄」。私たちは、もの豊かなことや快適で便利な生活を得た一方で、環境破壊、資源の枯渇といった環境問題を抱えています。また、ゴミ処理場や処理方法も大きな問題となっている今、「使い捨て」や「一方通行」から、環境への負担が少ない「循環」を基調とする経済社会システムの実現に向けて真剣に取り組まなければなりません。富士フイルムも、循環型社会の形成に貢献していきたいと考え、様々な取り組みを行っています。その代表的な例として「写ルンです」循環生産工場をご紹介します。

## 「写ルンです」から「写ルンです」へ

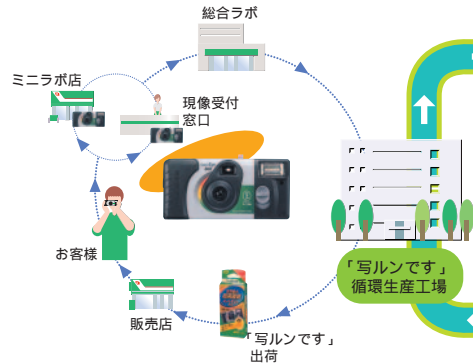
「写ルンです」は1986年、世界初のレンズ付フィルムとして発売され、たちまち爆発的なヒット商品となりました。発売当初から、部品のリユースは実施していましたが、急激に市場が拡大したこともあり、残念ながら充分なリサイクル体制をとることはできませんでした。そこで1990年に循環生産工場「写ルンです」リサイクルセンターを開設し、本格的なリユース・リサイクルに乗り出しました。リサイクルを進めるにあたって課題となったのが、リサイクルの効率化です。リサイクルするためには、回収した製品を解体しなければなりません。1990年当時の「写ルンです」FLASHは、フラッシュユニット以外の部品がユニット化されていなかったために、これらを全部解体するには時間がかかりました。そこで、リサイクル方法をあらかじめ考慮して設計開発することが効率的であると考え、リサイクル容易性を重視した「写ルンです」Flash エコショットを1992年に開発しました。ここで採用された部品のユニット化の考え方に、循環生産の新技术や製品環境アセスメント等の手法を取り入れながら、「写ルンです」は今でもリサイクルしやすいものへ進化を続けています。その結果、1990年当時の「写ルンです」FLASHでは再資源化重量率が36%であったものを、現行の「写ルンです」シンプル Eye800では95%まで高めています。

### 環境配慮思想が凝縮

ベレタイズレス方式で樹脂再生の効率アップ  
シャッター、レンズ、ストロボ関連部品等リユースを前提としたユニット化設計



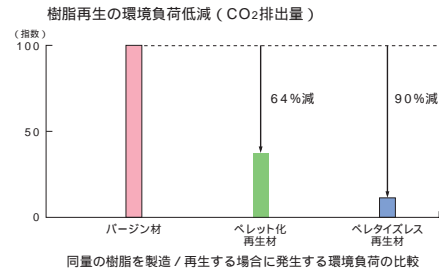
材料統一によるリサイクル性の向上 小型軽量化によるリデュース性向上



## 発想の転換、回収から始まる循環生産

富士フイルムでは、製品だけでなくリサイクルラインの技術開発にも積極的に取り組んでいます。1992年11月には、「写ルンです エコショット」の製品開発にあわせて研究した「写ルンです」リユース・リサイクル自動化システムを稼働させました。さらに1998年には、従来の概念を変える「回収」から始まり、分解・検査・再生産という生産システムを取り入れた「写ルンです」循環生産工場を稼働させています。

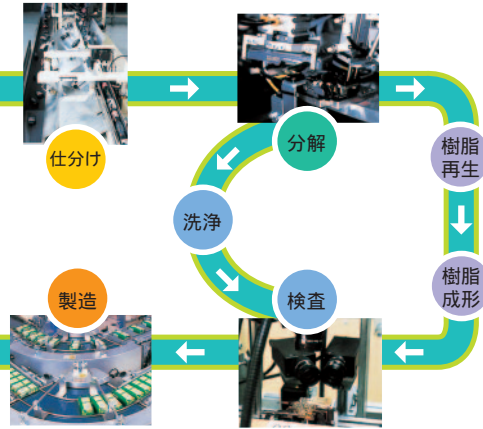
部品のユニット化、リデュース・リサイクル性の向上、製造工程の向上などにより、1990年にリサイクルを開始して以来、着実に環境負荷を低減しています。また、「写ルンです」の前カバー等、リユースできない部品は従来、破碎後にペレット化してから成形していましたが、ペレット化せずに、破碎状態で直接成形するベレタイズレス方式を開発。樹脂を再生するための環境負荷を大幅に低減しました。



ペレット化再生材



ベレタイズレス再生材



## 豊かな水と空気を守るために

循環生産工場の建つ富士フイルム足柄工場は、神奈川県南足柄市の緑豊かな場所にあり、排出される排水・排気て豊かな自然を壊さないように、創業以来環境負荷の低減に努めてきました。南足柄市は水の郷百選にも選ばれていることもあり、排水処理には特に徹底した配慮を行っています。また循環生産工場は、地域住民の方、お客様をはじめ、様々な方々との大事なコミュニケーションの場でもあります。工場には見学施設があり、「写ルンです」が実際にリユース、リサイクルされていく様子をご覧いただけます。小学生の環境学習や、中学生の修学旅行の見学コースにも選ばれるなど、2002年度は1万名以上の方が訪問されました。当社は今後も、「写ルンです」のコンセプトと、これまで培ってきた環境技術の経験を活かして、循環型社会の一端を担っていきたくと考えています。



排水施設の溜め池で遊ぶ錦鯉

「写ルンです」循環生産工場では団体の皆様を対象に工場見学を受け付けております。お気軽にお問い合わせください。  
TEL:0465-73-6040 足柄工場事務部見学担当

# FUJICOLOR 写ルンです

## 進化の軌跡

1986-2003

「写ルンです」リサイクルセンター稼働

「リユース・リサイクル自動化システム」稼働

世界初の「写ルンです」循環生産自動化工場稼働開始

1986 110フィルムから35mmフィルムに変更。ISO100からISO400へ

1987 初代「写ルンです」フラッシュ付新登場

1988 「写ルンです」Hi 「写ルンです」Flash

1989 4m以上の望遠撮影が可能

1990 「写ルンです」望遠 「写ルンです」接近

1991 パノラマサイズ新登場

1992 「写ルンです」パノラミックHi

1993 「写ルンです」防水

1994 「写ルンです」エコショット

1995 世界初高感度ISO800フィルム搭載。フラッシュ到達距離が4mまで伸び撮影シーンが拡大

1996 「写ルンです」Super800Flash

1997 8連写機能でゴルフの瞬間を捉え、さらに高速で撮影可能

1998 APSフィルムを搭載。さらに小型化を実現

1999 「写ルンです」Black&White 「写ルンです」Golf 「写ルンです」スーパーバースリムFlash

2000 「写ルンです」スーパーバースリム切替

2001 標準・HV・パノラマ3タイプ切替

2002 「写ルンです」プリントにキャラクターの顔が入って楽しさ倍増

2003 「写ルンです」プリントに日付が入るオートデート機能搭載

「写ルンです」スーパーEye800 「写ルンです」プリントコレクション 「写ルンです」デート

「写ルンです」シンプルEye800

「写ルンです」大きくて見やすいビッグファインダー搭載

「写ルンです」エクセレント

「写ルンです」高画質を実現する先進テクノロジー。誰もが使いやすいユニバーサルデザイン

NEW 「写ルンです」Night & Day

「写ルンです」の詳細情報は <http://www.fujifilm.co.jp/utsurunodesu/index.html> をご覧ください。